

【 日高山脈襟裳国定公園について 】 村田光成 (R4.6.21)

(一) 日高山脈襟裳国定公園について

日高山脈襟裳国定公園の国立公園化について伺います。

日高山脈地域は、世界的にも珍しい傑出した地形地質が分布しており、学術的にも大変貴重な生態系が残されているなど、優れた自然を有していることから、国では現在、国立公園の指定に向けた作業を進めていると承知しています。

先日、環境省が中央環境審議会委員の現地視察に合わせ、日高山脈襟裳国定公園所在自治体の首長との意見交換会が行われ、その場で、国内最大規模の指定面積になる見込みのほか、これまで年内の指定を目指していたところ、民有地の地権者と調整に時間を要するため、指定時期が来年以降にずれ込む見込みであると聞き及んでいます。

日高山脈地域が、新たに指定されることになると、北海道では、昭和 62 年に指定された釧路湿原国立公園以来となり、自然環境の更なる保全是もとより、アドベンチャーツーリズムやワーケーションといった新たなスタイルの利用も期待されるところであります。

また、早期に指定されれば、令和初の国立公園誕生となり、地域振興や活性化が期待されると考えます。

私としても、一日も早い指定を願うところでありますが、道として、国立公園

の指定に向け、どのように取組んでいくのか見解を伺います。

(答弁：環境生活部長)

- ・国では、国立・国定公園の新規指定や大規模拡張の候補地として、日高山脈襟裳国定公園地域を選定しており、現在、国立公園化に向け、土地所有者などと区域設定等について調整。
- ・道としては、国の公園計画の策定において、地元の意向が十分配慮されるとともに、日高山脈周辺地域が早期に国立公園に指定されるよう、様々な機会を捉えて、国に働きかけてまいる。